

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成20年6月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1175700267
法人名	株式会社サン・トラベル
事業所名	グループホームひので
所在地	〒349-0101 埼玉県蓮田市大字黒浜4905-16 (電話) 048-765-7201

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年6月20日

【情報提供票より】(平成20年5月31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20 人	常勤	13人, 非常勤 7人, 常勤換算 14人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り 2階建ての1階～2階部分
------	------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	18,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (300,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり1,500円				

### (4) 利用者の概要(5月31日現在)

利用者人数	17 名	男性	7 名	女性	10 名
要介護1	8 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.3 歳	最低	59 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	蓮田病院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、緑地の多い自然環境に恵まれた中に位置し、開設5年目になる2ユニットのグループホームである。近くに菜園があり、敷地内の庭にも、木や花、野菜が栽培され、利用者の目を楽しませている。管理者は以前から地元に住み、自然な形で地域と交流している。看護師も3名おり、きめ細かい健康管理がされている。職員の意見を取り入れ、全体の協力体制が定着して和が保たれており、開設以来離職者がいないため、利用者にとっても家族同様の関係作りがされている。家庭的な温かい雰囲気の中で、お互いに支え合って穏やかに過ごしている様子が伺えるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 職員間で話し合い、記録や介護計画をカーデックスにまとめて各フロアに置き、いつでも見られるようにした。介護計画も6か月ごとの見直しを徹底させ、薬や洗剤の保管場所も安全な場所に収納した。感染症については、マニュアルの作成と研修に取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員間で読み合わせ、職員の意見を聞きながら、管理者と介護支援専門員で記入した。職員にとっても、認知症ケアの原点に立ち戻って見直す機会となった。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 現在、運営推進会議は設置されていない。今夏の開催を目指して調整している段階である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の面会時には必ず事務所に寄ってもらい、意見や要望を聞くようにしている。苦情は少ないが、出された苦情に対する職員間での対策の検討はこれからの取り組みである。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 毎日2～3回は散歩に出かけ、地域の人達と挨拶を交わしたり、野菜をいただいたりしている。ゲートボールの応援をしたり、下校時の子どもの安全や不審者の見守りにも協力している。地域の活動は活発ではないが、ホームの行事には地域の人達を招き盛んに交流している。

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で話し合い、誰でも同じように家庭的な雰囲気の中で生活できるように、ホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回のミーティングや日々のケアの中で、折に触れ確認し合い、理念の実現に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	1日2～3回散歩に出かけた際、挨拶を交わしたり、下校時の子供たちの安全の見守りに協力している。地域の活動は殆どないが、ゲートボール場で応援したり、ホームの行事に地域の人達を招待して交流している。また、近隣の人からは野菜をいただいたりする親しい関係にある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価について職員全員で話し合い、6か月ごとの介護計画の見直しや、カーデックスにしてフロアに置きいつでも見られるようにしたり、感染症のマニュアル化と研修の実施等の改善に取り組んだ。今回の自己評価も職員の意見を聞きながら記入し、ケアの原点に立ち戻って考える機会となった。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今夏の開催を目指して調整しているが、市の指導を待っている状況であり実施には至っていない。		ホーム開設から5年になるため、ホーム主導により現在抱えている様々な課題に取り組むためにも早期の設置が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	問題が浮上した時には常に相談している。生活保護受給の利用者もいることから、市の担当職員も毎月来訪され、連携を密にとりながら、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回の請求書、金銭出納報告と一緒に、フロアリーダーが利用者の健康状態や日常の様子を書いて送付している。面会時や変化のあった時には、随時電話等で報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの苦情は少ない。新人職員の電話対応に関する苦情があった際は管理者より謝罪しているが、職員間で苦情に対する対策を検討して今後に活かす機会とされていない。		家族の不満や苦情について職員全員で話し合い、マニュアル化、または記録に残すなど工夫し、サービスへ反映していく具体的な取り組みが望まれる。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、離職者はいない。管理者は職員の意見を尊重して実践している。また、職員の和を大切に、家族同様に温かく接している。今後、離職や異動により新規採用者がいる場合は、熟練者が指導に当たり、利用者への不安の解消に努める予定である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内を事務所に掲示したり、参加費をホームで負担したり、勤務扱いとして代わる代わる参加できるように努力しているが、年間計画がなく、職員からは資格取得の支援も望まれている。		職員が計画的に研修へ参加できるように、年間計画を作成の上、計画の中で研修を位置づける工夫とともに職員の希望する資格取得への支援にも期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近くの特別養護老人ホームや老人保健施設と交流し、情報交換をしてサービスの質の向上に取り組んでいる。市内のグループホームは、同会社系列のホームも含めて3か所であるため、他の地域のグループホームの見学を検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>緊急入居の場合もあるが、入居前に訪問したり見学を受け入れ、本人や家族が納得した上で入居している。希望により、日中の体験の受け入れにも対応できる。入居後も、他の利用者と早く馴染めるように声かけを多くするなど工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活の中で、掃除、洗濯、食事の準備など、利用者のできることをしてもらったり、職員と一緒に一連の作業を行っている。調理の仕方や野菜の育て方を利用者に教えてもらうなど支え合って過ごしている。不穏な状態にある時は、昔の話を聞いて共感し、落ち着くように支援している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族から思いや希望等を聞いたり、日常の会話や観察の中から真意を汲み取り、意向の把握に努め取り組んでいる。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンスを開き、職員間で話し合い、本人や面会時の家族の意見も取り入れて、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6か月に1度、定期的に見直しを行っている。状態に変化が生じた際には、家族に報告して意見を聞いた上で現状に即した介護計画を新たに作成し、家族の同意を得ている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、買い物や通院の支援等、柔軟に対応するように努めている。		
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院へ月1～2回、定期的に通院し、希望する病院や歯科、眼科への受診の支援も行っている。ホームの近くなる開業医も相談に乗ってくれたり、ホームにいる3名の看護師も健康管理に当たっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化にともない治療も困難になった場合、家族から任せられ、終末の看取りのあり方に疑問をもちながらも、最終的に病院対応となっている。なお、職員の中に3名の看護師があり、医療面の対応には恵まれた人材が確保されている。		恵まれた人材を活かし、ホームが対応しうる最大の支援方法を踏まえ話し合うことが望まれる。本人、家族、医師、職員全員で終末期の看取りのあり方について前向きに検討し、方針を共有されることを期待したい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は、月1回のミーティングで個人情報保護に関することや利用者に対する言動について指導したり、毎日の申し送りの時にも注意し合っている。書類は事務所に保管し、カーデックスは各フロアの手が届かない場所に保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課はあるが、利用者の体調や一人ひとりのペースに合わせて、散歩や買い物、手芸、カラオケなどの希望を取り入れて支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望や能力を活かして、食事の準備や後片付けを一緒にしている。2階の利用者は職員と共に食事を楽しんでいる。一方、1階の利用者は重度の方や全介助の方もいるため、食事は共にできないが、同席して会話をもちながら、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりが、週2～3回は入浴できるように、午前から午後5時頃までの時間帯で、順番やタイミングに配慮しながら、一人ずつゆっくり入浴できるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事や裁縫、大正琴、野菜づくり、花木の手入れなど、生活歴や得意とすることが発揮できるように支援することで、利用者の楽しみや張り合いになっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は毎日2～3回は散歩に出たり、希望によりドライブや買い物に出かけている。季節ごとの花見や、お弁当を持って公園に出かけたり、回転寿司やお蕎麦屋さんなどの外食を楽しむなど、外出の機会を多くもつように支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は遅番が帰宅する夜の8時頃まで鍵をかけず自由な暮らしを支えるようにしている。職員も当たり前のこととして受け止め、利用者の様子を見ながら安全に過ごせるように対応している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署による避難訓練を実施している。近隣にも災害時の協力をお願いしてあるが、具体的な協力体制が明示されていないため、夜勤職員の不安となっている。		地域住民の協力を得ることは重要であるため、連携を図りながら具体的な協力体制を築いていくことが望まれる。そのためにも、自治会への加入や運営推進会議の早期設置を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士のいる食材業者から献立表も送られ、菜園で採れる野菜や利用者の好みをアレンジして栄養バランスも良い。嚥下能力によりトロミをつけたりキザミ食にするなど、個人に合った食事を提供している。食事、水分の摂取量はバイタルチェック表に記入して把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、リビング、オープンキッチン等、建物内部は木調で、調度品も一般家庭的である。庭にも自由に入出りができ、ウッドデッキには椅子が置かれくつろげる。廊下やリビングには、季節の花や手芸の作品、写真が飾られ、楽しく落ち着いた生活感が伺える。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望するベッドや好みの調度品、テレビなどが持ち込まれ、家族からの贈り物や個人の作品など、思い思いの居室づくりが工夫され、居心地の良く過ごせる居場所となっている。		